

公益財団法人 サントリー芸術財団 音楽事業部

107-6022 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル22階 私書箱509号 Tel: 03-3582-1355 Fax: 03-3582-1350



No.sfa0033 (2019.3.14)

第18回（2018年度）佐治敬三賞は 「第三回 伊左治直 個展～南蛮劇場」に決定



公益財団法人サントリー芸術財団（代表理事・堤 剛、鳥井信吾）は、わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈る「佐治敬三賞」の第18回（2018年度）受賞公演を「第三回 伊左治直（いさじ すなお）個展～南蛮劇場」に決定しました。

●選考経過

応募のあった2018年実施公演について2019年2月22日（金）ANA インターコンチネンタルホテル東京において選考会を開催、慎重な審議の結果、第18回（2018年度）佐治敬三賞に「第三回 伊左治直 個展～南蛮劇場」が選定され、3月11日（月）の理事会において正式に決定された。

●賞金 200万円

●選考委員は下記の7氏

伊藤制子、岡田暁生、片山杜秀、白石美雪、長木誠司、船木篤也、
水野みか子 (敬称略・50音順)

<贈賞理由>

摩訶不思議な個展であった。粒ぞろいの曲目と演奏者はもちろんのこと、会場の選定から、チラシのデザイン、プログラム冊子の装丁に至るまで、作曲家の趣味と嗜好が貫徹していた。その趣味と嗜好とは、時代性と空間性の両面での越境である。異種混淆の芸当である。それは当然、祝祭的な、あるいは神事的な表現をとる。人間の本能は安全を求めており、安全とは、いつも通りの日常が続いていることによって、保障される。いつもは入らないものが入り込んで混ざってくるのは、差しさわりの危険なのだ。たとえば現代音楽の演奏会なのにボサノバをやるのは危険だ。そうした差しさわりを正当化しうるのは祭りであり、儀式である。お客さんが来る。マレビトが来る。神様が来る。いつも通りの安全運転ではさばけない。安全はこじ開けられる。そうなったら、非日常の何者かをおもてなしするしかない。宴である。それは越境という行為を否が応にも人々に認めさせる、最高の手段なのである。

伊左治直氏の個展は、越境と混淆の宴を、またとないシチュエーションで、完璧なまでに実現した。何しろ会場が、東京は本郷の求道会館である。大正期の建築である、その会堂は、仏教とキリスト教、東洋と西洋の混淆様式を極めて特異に具現している。この歴史的空間の選択によって、伊左治氏は既に勝利していた。

しかも氏の宴は、西洋クラシック音楽と日本伝統音楽の邂逅といったような、「使い古され、類型化した、想定内の危険」ではない。ブラジル音楽があり、中世・ルネサンス音楽があり、雅楽があり、日本の民俗芸能があり……。世界広しと言えども、伊左治直という唯一の個性ならでは、想定外の危険に満ちた越境の仕方が演出されていた。そこには、伊左治を伊左治たらしめる、ブラジルに表徴される「南へのベクトル」が遍在しており、そんな熱帯趣味的異種混淆格闘技戦が、誰もが宴にのみ込まれ、トリップできるほどの、マラソン・コンサートの時間規模において実現され、圧倒的体験をもたらした。出演者はピアノの高橋悠治氏、作曲家自身をはじめ、19人に及んだが、そのうち誰が良かった云々ということもなく、全員が紛れもなく、たとえばムーミン谷であるとかに匹敵するような「伊左治世界」の完璧な住民として立ち現れていた。このあまりに見事な越境の祭儀に佐治敬三賞を贈呈する。

<公演概要>

名 称：第三回 伊左治直 個展 ～南蛮劇場

日 時：2018年12月2日（日）16：00開演

会 場：求道会館（東京都文京区）

曲 目：「酔っ払いと綱渡り芸人」「熱帯伯爵」「アサギマダラと神の少女」
「オウムのくちばし」「八角塔の横笛夫人」
「弦楽四重奏曲『縄』（新作初演）」「空飛ぶ大納言」
「ビリバとバンレイシ」「舞える笛吹き娘」「炎の鳶」「人生のモットー」

出 演：伊左治直（打楽器）、太田真紀（ソプラノ）、岡野勇仁（ピアノ）、
織田なおみ（フルート）、加藤美菜子（ヴィオラ）、
亀井庸州（ヴァイオリン）、北島愛季（チェロ）、
迫田圭（ヴァイオリン）、高橋悠治（ピアノ）、田島和枝（笙）、
中村華子（笙）、中村仁美（箏）、藤元高輝（ギター）、
松村多嘉代（ハーブ）、三浦礼美（笙）

主 催：伊左治直

以 上

(ご参考)

佐治敬三賞について

公益財団法人サントリー芸術財団（代表理事・堤 剛、鳥井信吾）は、故・佐治敬三（サントリー元会長、サントリー音楽財団元理事長）の功績を記念して、2001年度（平成13年度）から「佐治敬三賞」を創設しました。

この「佐治敬三賞」は佐治の音楽への深い愛情と理解およびチャレンジ精神、パイオニア精神を承継し、新しい世紀のわが国における音楽公演活動の一層の振興を願って、氏の名を冠した新しい賞として制定されました。

この賞は、毎年わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈られるもので、応募のあったものの中から選定されます。賞金は200万円です。

故・佐治敬三は、早くから文化事業への支援に力を入れ、特に音楽界においては1969年（昭和44年）に鳥井音楽財団（現サントリー芸術財団）を設立、サントリー音楽賞をはじめとするわが国の洋楽の振興を目的とした諸事業のほか、東京初のコンサート専用ホール「サントリーホール」の建設・運営などを行ってきました。

1999年11月3日に急逝した佐治の遺族から“音楽界のために役立ててほしい”として遺産の一部が寄付されたことから、当財団で検討した結果、「佐治敬三賞」の創設にいたしました。

これまでの受賞公演

第1回（2001年度）

「篠崎史子 ハープの個展 VIII ～新たな領域を求めて～」

2001年10月19日 東京文化会館 小ホール

「Just Composed 2001 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ

～大野和士が描く新世紀の音楽絵巻」

2001年8月31日 横浜みなとみらいホール

第2回（2002年度）

「アンサンブル・ノマド2002年度定期演奏会#1」

2002年9月17日 東京オペラシティ リサイタルホール

第3回（2003年度）

「現代の音楽展2003 室内オーケストラの領域 III」

2003年3月17日 東京文化会館 小ホール

第4回（2004年度）

「三井の晩鐘」

2004年10月24日 イシハラホール

第5回（2005年度）

「next mushroom promotion vol. 8 『細川俊夫～50年のランドスケープ』」

2005年10月15日 ムラマツリサイタルホール新大阪

第6回（2006年度）

「武生国際音楽祭2006」

2006年9月2日～10日 越前市文化センター 他

第7回（2007年度）

「フランス現代音楽からの潮流～井上麻子×藤井快哉DUO」

2007年11月17日 兵庫県立尼崎青少年創造劇場 ピッコロシアター

第8回（2008年度）

「実験室 vol.2 『偽のアルレッキーノ／カンパネッロ』」

2008年3月27日・28日 ミレニアムホール

第9回（2009年度）

「クロノイ・プロトイ 第5回作品展～弦楽四重奏の可能性」

2009年12月9日 東京オペラシティ リサイタルホール

第10回（2010年度）

「井上郷子^{きょうこ}ピアノリサイタル#19 モートン・フェルドマン作品集」

2010年2月28日 東京オペラシティ リサイタルホール

「東京シンフォニエッタ第28回定期演奏会 湯浅譲二特集」

2010年12月10日 東京文化会館 小ホール

第11回（2011年度）

「林千恵子メゾソプラノ・リサイタル『アペルギス&グロボカール』」

2011年7月27日 門仲天井ホール

「児玉桃ピアノ・ファンタジーvol.1」

2011年9月17日 京都府立府民ホール “アルティ”

2011年9月19日 東京文化会館 小ホール

第12回（2012年度）

「kuniko plays reich in Kyoto」

2012年3月18日 京都芸術センター 講堂

「Sep.5 2012 Thanks to John Cage」

2012年9月5日 サントリーホール ブルーローズ

第13回（2013年度）

「東京現音計画#01～イタリア特集I：

コンポーザーズセレクション1・杉山洋一」

2013年9月13日 杉並公会堂 小ホール

「^{とうほうきたん}東方綺譚 “Nouvelles Orientales de Marguerite Yourcenar”」

2013年10月26日 津田ホール

第14回（2014年度）

「鈴木俊哉 リコーダー リサイタル《細川俊夫ポートレート》」

2014年2月11日 淀橋教会・小原記念チャペル

「ニンフェアール第10回公演 東洋と西洋の絃」

2014年7月20日 宗次ホール

第15回（2015年度）

「トム・ジョンソン《4音オペラ》」

2015年3月25日 杉並公会堂 小ホール

2015年3月28日 愛知県芸術劇場 小ホール

「DUOうたほぎリサイタル2015－春夏秋冬－」

2015年12月17日 東京オペラシティ 近江楽堂

2015年12月23日 青山音楽記念館 バロックザール（京都）

第16回（2016年度）

「伶楽舎第十三回雅楽演奏会～武満徹『秋庭歌一具』」

2016年11月30日 東京オペラシティ コンサートホール

第17回（2017年度）

「三輪眞弘+前田眞二郎 モノログ・オペラ『新しい時代』」

2017年12月8日・9日 愛知県芸術劇場小ホール

2017年12月16日 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

第19回（2019年度）「佐治敬三賞」応募について

2019年1～6月実施公演の応募受付は終了しました。

2019年7～12月実施公演の応募方法は以下のとおりです。

- ・対象公演 2019年7月1日から12月31日の間に国内で実施される音楽を主体とする公演。
- ・応募方法 所定の応募用紙にて応募いただきます。公演の記録映像、録音、印刷物などがある場合は資料として提出いただく場合があります。応募要項・用紙は、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵送またはFAXにてサントリー芸術財団までご請求下さい。また当財団ホームページからもダウンロードできます。
- ・応募期間 2019年4月1日（月）から5月31日（金）
- ・お問合せ先 公益財団法人サントリー芸術財団 音楽事業部
〒107-6022

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル22階
私書箱509号

電話（03）3582-1355

FAX（03）3582-1350

<http://suntory.jp/sfamusic/>

以 上